

Chutan-Reha Support Center News

中丹地域 リハビリ支援センターニュース

Vol. 007 (2014. 10)



編集担当：小幡彰一
TEL・FAX 0773-75-2094
E-mail obata@chutan-rh.jp
<http://www.chutan-rh.jp>

- <内容>
- 1 地域リハビリテーションに関する意識調査の結果
 - 2 平成25年度の地域リハコーディネート事業の概要報告です
 - 3 総合リハビリテーション推進事業（第2期プラン）発動
 - 4 回復期リハビリテーション病棟って、どんなところ？
 - 5 脳卒中に続いて大腿骨近位部骨折の地域連携パスも運用開始！
 - 6 リハビリテーション従事者研修会のご案内

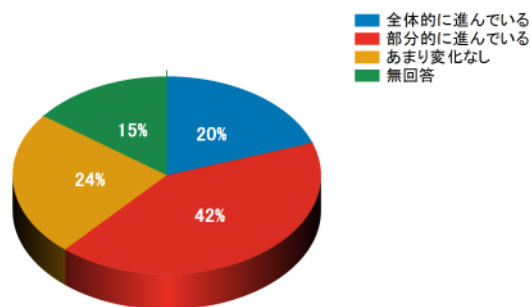
1 地域リハビリテーションに関する意識調査（アンケート調査）の結果

平成25年度は、総合リハビリテーション推進プラン（第1期：3年間）の最終年でもありましたので、平成25年12月～平成26年1月に、中丹地域リハビリテーション連携推進ガイドに掲載されています239事業所を対象に、地域リハビリテーションに関する意識調査を行いました。

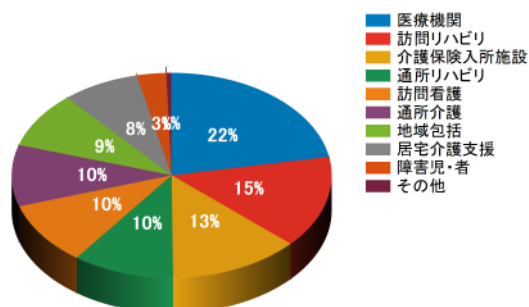
この3年間におけるリハビリの連携に関する質問では、「全体的に進んでいる」が20%、「部分的に進んでいる」が42%と、合計62%が進んでいるとの回答でしたが、「あまり変化なし」との回答も24%ありました。下図の「連携を深めたい施設」の内容からもわかるように、医療～施設～在宅、また障害児・者～高齢者と、幅広い分野での連携支援が求められていた中で、支援センターとして十分に対応ができていなかったとも考えられ、今後の課題としてあげられます。

リハビリのニーズに関する質問では、「大いにある」が37%、「ある」が51%と地域のニーズは高く、またリハビリ支援センターに対する期待も91%が「ある」と回答していただき、みなさまの期待に応えられる支援センターとして、今後も活動を推進していきたいと考えております。

平成23年度以前と比べて連携は？



連携を深めたい施設



2 平成25年度の地域リハコーディネート事業の概要報告です

関係機関のみなさまから多大なご協力、ご尽力をいただき、ありがとうございました。

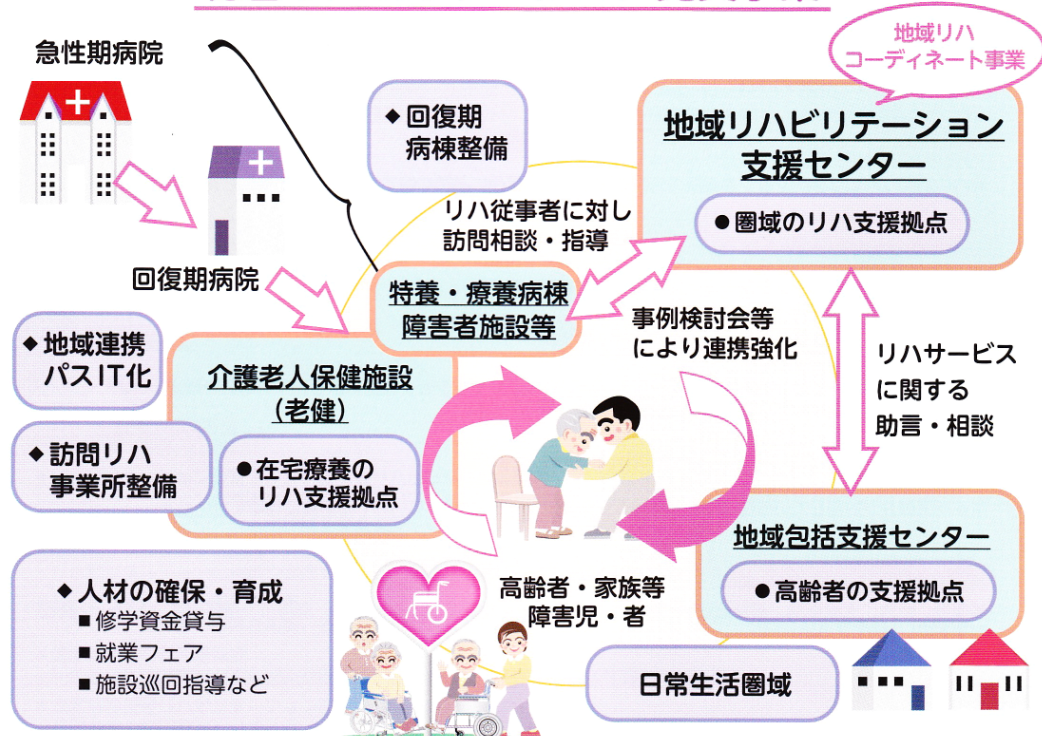
平成25年度 地域リハコーディネート事業報告（概要）

事業内容	中丹東地域リハビリテーション支援センター ＜舞鶴市・綾部市＞ 舞鶴赤十字病院	中丹西地域リハビリテーション支援センター ＜福知山市＞ 福知山市民病院
地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応	12件	13件
事業者支援のための訪問・相談	47件	45件
リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催	4回	4回
圏域連絡会	7月1日	
先進的リハビリ治療法導入事業参加	3名	3名
リハビリ従事者研修会	11月14～15日	11月21～22日
実践交流会「ひといき庵」	2月14日	
地域リハビリ連携推進ガイド	8月発行	
リハビリ支援センターニュース	7月発行	
地域リハビリに関する意識調査	12月～1月	
ホームページ運用	通年	

3 総合リハビリテーション推進事業（第2期プラン）発動

昨年度策定されました、第2期京都府総合リハ推進プランに基づき、総合リハビリテーション充実事業が本年度から5年間、継続実施されることになりました。地域リハビリ支援センターでは従来の活動やサービスを継続実施しておりますのでご利用下さい。

総合リハビリテーション充実事業



4 回復期リハビリテーション病棟って、どんなところ？

医学的リハビリテーションでは、病気やケガを発症してから約1ヶ月ぐらいを「急性期」、その後の、日常生活に戻るための集中的なリハビリが必要な期間を「回復期」と呼んでいます。

回復期リハビリテーション病棟とは、回復期のリハビリが必要な疾患に絞って、よりたくさんの時間をかけて集中的にリハビリができるように、厚生労働省が基準を設定した病棟で、京都府では人口10万人あたり 44.1床であり、全国35位となっています。（平成25年末）

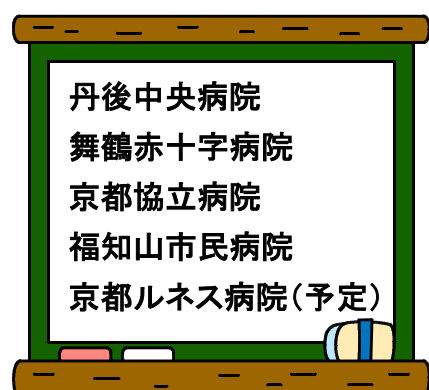
この病棟は誰もが入院できるのではなく、入院できる疾患名と発症からの期間、退院までの期間が決まっており、基本的に在宅復帰を目標とされる方が対象となります。（下図参照）

また、回復期リハビリ病棟には、退院後の在宅生活期のリハビリへスムーズに移行できるように、在宅支援の能力やサービスの充実も求められています。

これまで京都府北部地域では、このような病棟の不足により遠方の病院にまで行かなければなりませんでした。京都府施策の後押しにより、この地域でも回復期リハビリ病棟の整備が進んできたことは、リハビリを必要とされている患者様、家族様にとって朗報となっています。

対象疾患	入棟までの期間	退院までの期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態	2ヶ月以内	150日
		180日※1)
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態		90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態		
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内	60日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態		

※1) 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頭髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合



京都府北部で回復期リハビリテーション病棟がある病院

（お問い合わせは、各病院の地域連携窓口まで）

5 脳卒中に続いて大腿骨近位部骨折の地域連携パスも運用開始！

脳卒中地域連携パスは平成25年1月から舞鶴医療センターが計画管理病院となり、地域の連携病院施設間で運用されてきました。平成26年7月から大腿骨近位部骨折地域連携パスも、綾部市立病院と福知山市民病院が新たに計画管理病院となり運用が開始されました。IT化された地域連携パスの使用は、各施設間の情報共有をより効果的なものにしています。



★：計画管理病院 ●：連携病院 ピンク：回復期リハビリ病棟あり ブルー：老人保健施設

<京都府北部における計画管理病院と連携病院施設一覧>

6 リハビリ従事者研修会のご案内

在宅や施設、病院、診療所等でリハビリテーションに取り組まれている従事者の方（看護師、介護福祉士、生活指導員、運動指導員、ヘルパー、PT、OT、ST、ケアマネジャー等）を対象に研修会を開催します。本年度も東西2カ所で、2日間の研修を行います。

場所日程：中丹東地域；舞鶴赤十字病院（11月13日～14日）

中丹西地域；中丹西保健所（11月20日～21日）

内 容：第1日目 すぐに使えるROM練習・筋力練習・接触嚥下練習

第2日目 すぐに使える福祉用具・住環境調整・トランスファー

申込方法：別途郵送の研修会FAX申込用紙にて

（中丹地域リハビリ支援センターホームページにも掲載）

参加費：無料